

PROFILE



佐々木亜希子

活動写真弁士。NHK山形放送局でニュースキャスターを務めた後、2001年より無声映画をライブで語る活動写真弁士に。ウィットに富んだ台本と七色の声が人気を博し、全国各地の映画祭や上映会に出演。ナレーション、MC、講演、執筆等、活動は多岐に渡り、映画音声ガイドも数多く手がけている。NPOビーマップ（Barrier-free movies for all people）理事長。



永田雅代

ピアニスト。クラシックの教育をうけるが、幼少の頃から、JAZZやPOPSのピアニスト、キーボディストに大きく影響をうける。即興パンクトリオNACITEN を結成し音楽活動開始。紅龍（上々颱風）、谷本賢一郎、オルリコ、小暮はな等々、多くのボーカリストたちの伴奏、アレンジ、ライブ、レコーディング等に参加中。無声映画の伴奏にも力をいれており、多くの作品に生演奏、楽曲提供している。



広居バン

ナレーター。シグマ・セブン所属。サラリーマンから役者を志し富良野塾へ。その後ナレーション・語りの魅力にとりつかれ、現在に至る。テレビ朝日「池上彰のニュースそうだったのか!!」「ナニコレ珍百景」ほか多くの番組のナレーションを担当。舞台の語りでは近年、江戸川乱歩の作品で独演会も行っている。朝日カルチャー千葉教室講師。



三田朱美

フリーアナウンサー。joプロジェクト《キョウユウ》主宰。FM愛媛を経て、フリー後は、bayfm、NACK5ほかFMラジオでニュースやパーソナリティを。イベント企画や司会、企業VPナレーション、朗読等を中心に活動。発声&呼吸法を取り入れた健康教室「声活」にも力を入れ、カルチャースクール講師を務める。声を整える教室「はなすきく」主宰。

STORY

ちまた 街の子

1924年(大正13年) 東京シネマ商会作品 社会教育劇
監督/畑中蓼坡 出演/夏川静江、小島勉、小杉義夫、高橋豊子、夏川大吉 (後の大二郎)

関東大震災(1923年)後の東京下町を舞台に、懸命に生きる子どもたちを描く。
不幸にも震災で両親を亡くした少女お京は、浅草界隈に巣食う不良たちの親分金平に囚われていた。
金平の倅に逃がしてもらったお京は、悪名高き浮浪児仙吉に助けを求め、二人で山の手の街をさまよい歩く。

切符

浅田次郎 著
(新潮文庫刊『夕映え天使』所収 / 2008年(平成20年)新潮社刊)

舞台は1964年、オリンピック直前の東京。物語は懐かしい風景とともに当時の暮らしの匂いが漂う。
勢いづいて発展してゆく街には、まだ戦後の爪痕も残っていた。祖父と二人暮らしの少年、広志は大人の事情に翻弄されるのだった…。

◇ joプロジェクト《キョウユウ》 ◇

TEL:03-5300-8752 mail:jo.p.kyoyu@gmail.com http://jo-p-kyoyu.jugem.jp